

研究課題番号	1G-2202
研究課題名	バネの隙間を利用した超高速ホウ素除去技術の開発
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
研究代表者名	保科 宏行

1. 委員の指摘及び提言概要

バネ式フィルターとパウダー状吸着剤の組み合わせによって、従来の処理能力を超えたホウ素除去装置が作られつつあることは高く評価できる。しかし、ラボスケールから実装置化へのスケールアップに伴う課題についての技術的検討がまだ十分でないようにも思われた。本課題は技術実証型の研究であることから、導入対象と想定されるターゲットを明確にした上で、達成すべき条件と想定されるボトルネックを明確に把握し、それらをクリアできる方向での開発研究をさらに進め、設定された全体目標・研究計画を是非達成していただきたい。加えて、既存処理装置との比較による技術的・経済的優位性に関する検討も進めていただきたい。

2. 採点結果

評価ランク：A